

# 学習会

## HPV（子宮頸がん）ワクチン薬害を知る会 被害者と共に考えましょう！

日時

2020年 1月13日（月・祝）13時半～16時

会場

栃木県青年会館コンサーレ 中会議室

宇都宮市駒生1丁目1番6号

参加費

無料

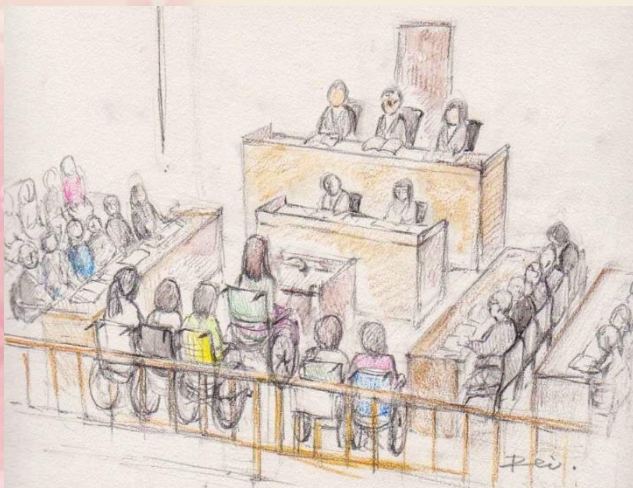
「子宮頸がん予防」とのふれこみで接種されたHPVワクチンにより、全身の痛み・震え・脱力・歩行困難・感覚過敏・記憶障害などの深刻な健康被害が発生しました。今なお、多くの被害者が苦しんでいます。

被害者は、健康な体を取り戻すことと原因解明・再発防止を求めて、2016年から、東京・名古屋・大阪・福岡で裁判を続けています。

私たちは、この訴訟を支援し、被害者の救済と薬害根絶のために活動しています。

今回、被害者本人と共にHPVワクチン薬害を知る会を開きます。

みなさんの参加をお願いします。



私たちをみてください。いないものとしなくてください。

原告・金澤さんの意見陳述より

私は、原告番号7番金澤佑華、現在21歳です。北海道恵庭市から来ました。優しい看護師の祖母の姿をみて、看護師になりたいと願っていました。中学校3年生の時、地元の病院でサーバリックスを3回接種しました。平成23年10月の2回目接種の数日後、激しい今まで感じたことのない頭痛、頭に霧がかかったようなモヤモヤ感、自分が起きているのか寝ているのかわからない頭の重さがあり、学校を休み病院に行きました。しかしワクチンの副作用だとは思わず、中学校3年生の平成24年3月に3回目も接種しました。

新たな症状が出たのは、高校1年生の終わりごろでした。授業中机の位置を動かす時、立ちあがったら頭がグルッと1周したようなめまいがおき、立ってられないほどでした。症状は悪化の一途をたどり、右手だけで起きていた痙攣が全身になり、過呼吸、不眠、食欲低下、上手に話せない、字が書けないなどの症状が出ました。それでも、高校は辞めたくなかったため松葉杖をついて学校に通いました。

そんな生活を2・3カ月続けましたがもう自分の身体が壊れてしまいそうだったので、平成25年10月に、大好きだった学校を休学し、平成26年3月に退学しました。

私は、厚生労働省が公表している札幌の協力医療機関を受診しました。しかし、その病院の医師から、母は「娘さんはYouTubeをみて、真似をしている」と言われましたし、私は診察の際に目を見て話してもらえず、検査も十分してもらえませんでした。私の目指していた「医療の世界」は人を助けるものではなかったのか、こんなに苦しくて助けを求めているのにと思って悲しかったです。平成25年12月、ようやく北海道立子ども総合内科・療育センターで詳しい診察と検査を受けることができ、私たちの被害が認められ、治療法が確立され、普通の子宮頸がんワクチンの副反応であると診断され、その後、PMDAの救済制度の申請をし、認められました。

現在も、痙攣、意識消失、脱力、めまい、耳鳴り、頭痛、不随意運動、視覚障害、睡眠障害、動悸などの症状に悩まされています。朝起きてみないと自分が元気なのかどうかが分からず、何の症状も出ないという日はありません。私が裁判に参加しようと思ったのは、今の私たちの被害が認められず、厚生労働省の検討部会では「心身の反応」といわれ、再びワクチンの積極的勧奨が行われようとしていることを知って、私たちの存在が否定されたように感じたからです。私は、今年、実名を公表することにしました。第一回の裁判に来たとき、たくさんの同じ被害者の方と会って、車椅子にのって自分の意思を伝えている姿をみて、私は今歩くことができるし、話すこともできているから私にも伝えられることがあるのではないかと思ったからです。

私たちはみんな早く元気になりたい、ワクチンを打つ前のからだに戻してほしい、勉強がしたい、社会に出たい、家族に安心してほしい、はやく前に進みたいと思っています。

助けてほしいと声をあげている私たちをみてください。いないものとしなくてください。

この裁判を通じて、私たちの被害が認められ、治療法が確立され、普通の生活が送れる身体に戻れるようにすることを求めます。

## 裁判を傍聴して下さい！

被害者たちが何を訴えているのか、そして国・製薬企業がどのような姿勢なのか。ぜひ皆さんの目と耳で確認して下さい。

傍聴のためには抽選による傍聴券獲得が必要です。

当選されなかった方のために近くの会場をかりて法廷外企画も予定しています  
東京地裁にお集まりください。

### 東京訴訟第13回口頭弁論

日時 2020年2月26日(水)

場所 東京地方裁判所103号法廷

裁判所前リレートーク	13:10
傍聴券配布締め切り	13:30
口頭弁論	14:00~15:15
法廷外企画	14:15
(会場は当日お知らせします)	
報告集会	16:00

わたしたちと一緒に訴訟を支援しませんか？



HPV ワクチン東京訴訟支援ネットワークは、2017年10月に設立された有志たちの支援団体です。

裁判傍聴やネットワークニュースの発行、勉強会の開催をはじめとし、より多くの方々にこの問題を知っていただきたいと活動しています。

原告や弁護士との交流を深め、1日も早くこの問題を解決し、薬害の根絶を目指しています。

HPV ワクチン東京訴訟 支援ネットワーク  
<http://hpv-yakugai-shien.net>



支援ネットワークの活動は  
ホームページでもご覧いただけます。